

止・見直しをしながら財政状況を勘案した持続可能なものにしていくべき。

③料金
利用しやすい金額として、300円程度が妥当。子ども料金などの検討も必要。

④区域
市域を4エリアに分け、さらに行政施設、医療施設や商業施設が集中し、各エリアから乗入れ、乗換えが出来る街中エリアは、料金面、乗り継

デマンド 新交通システムへ

ぎ場所等、市民ニーズを十分に把握すること。

⑤運行時間
平日の午前8時～午後5時、1時間おきに運行すべき。
通勤・通学者を対象とした運行時間以外の定時定者運行についても、利用者の利便性を重視すること。

⑥車両台数
当面は試行的に必要な最低台数を購入し、状況を見ながら道路状況に応じた大きさの車両を無駄のない台数分を購入すべき。

⑦他の交通手段との連携等
(1) 路線バスは吉備中央町と協議をし総社・田土線を廃止すべき。
(2) 山手ふれあいタクシーは、新交通システム導入後に懸念される配車予約の方法及び他のエリアからのスムーズな乗継が可能になるよう、利用者の利便性を十分に考えること。

議長交際費執行状況			
〔平成22年8月分～10月分〕			
支出区分	支払日	支出金額	支出先等
お 供	8/8	10,000円	岡山市議会議長実母 香料
お 祝	-	0円	-
お見舞	-	0円	-
激励金	-	0円	-
会費等	8/2 10/8	2,000円 14,000円	第37回日独スポーツ少年団交流会さつき会
議長賞	-	0円	-
土産等	8/9 10/13	1,575円 12,600円	青森県弘前市議会来総行政視察先(建設消防議会だより編集委員会)
募 金	8/19	5,000円	日本高齢者大会
その他	-	0円	-
合 計	-	45,175円	-
4月からの累計	-	239,120円	-

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。
各月の執行状況については、議会事務局及び市のホームページ(<http://www.city.soja.okayama.jp/>)でご覧になれます。

このほか、市民への説明会の開催、無料乗車キャンペーンの実施等により市民への周知の徹底、適切な運行事業者の選定、新交通システムが開始した後も常に利用者の立場に立ち、課題に適切に対応するとともに、このシステムが利用できない障がい者への措置を検討するよう要望しました。

(村木 理英)

型交通に 市議会から提言

新交通システム特別委員会は、来月4月からのスタートを目指すデマンドを中心とした新しい交通システムに関する調査報告をまとめ、10月19日に開催した10月臨時市議会に報告。全員一致で可決しました。そのあと、議会として市長に報告書を手渡し、提言をしました。

◇
この特別委員会は、議長を除く全議員で構成し、3月2

日に設置。以来、この下部組織として8人の委員で構成する小委員会でも再三調査協議し、最終的には特別委員会で意思決定をしたものです。

報告書の主な内容(議会としての提言)は次のとおり。

①目的
高齢者等の交通弱者が利用しやすい運行体系、料金を備えたシステムにすべきである。

②財政負担
既存の交通システムの廃

12月定例会市議会の予定

12月定例会市議会は、12月6日(月)から12月20日(月)までの予定です。
この定例会市議会本会議を、倉敷ケーブルテレビの13チャンネルで午前10時から生放送します。
12月定例会市議会は、右の表のように予定していますが、正式な日程は11月下旬に行う議会運営委員会で決まります。決まり次第、13チャンネル(回覧板チャンネル)と市のホームページ(<http://www.city.soja.okayama.jp/>)でお知らせします。
なお、12月9日は午後4時ごろまでの開催予定ですが、その他の日については一般質問・質疑の多少により変更となる場合がありますので、前日にお尋ねください。

問い合わせ 議会事務局 TEL 92-8332

12月定例会市議会の予定

日 時	内 容
12月 6日	開会
12月 9日	一般質問
12月10日	一般質問・質疑
12月13日	質疑
12月20日	閉会

《 剣 持 堅 吾 》
市長の政治姿勢について

問 現在の教育委員会の所管は多岐にわたっているため、密度の濃い学校教育行政が行えない状況と考える。直接学校教育に関係ない部分、特に体育振興、その中でも吉備路マラソンは早急に市長部局の所管にする考えはないか。

答 教育委員会には教育現場

に全力を傾注してもらい、マラソンとかは市長部局という分業制は将来あってもよいが、職員数の問題もあるので議会とも相談したい。(市長)

機構改革については、市長部局と十分連携をとっている。(教育長)

ごみ袋料金見直しと対応について
問 あかちゃん、高齢者、体

の不自由な方のごみ袋無料化を議会や審議会と相談すると言ったが、約束は全く守られていない。結果は弱者切捨てをしている。どう思うか。(市長)

答 10月から料金半額がスタートする。ごみの量が増えたら非常にづらいが、弱者の方々に対しては、忘れることがないようにこれからの課題とする。